

平成28年度 指定管理者施設管理評価シート

部 区民部 課 子育て・若者支援課

施設名称	〔2〕 東京都台東区母子生活支援施設さくら荘					
指定管理者の名称	社会福祉法人愛隣団	指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	愛隣保育園、愛隣団隣保部（病後児保育、一時預かり保育など）					
(2)類似施設の管理実績	なし					
(3)経営状況	（27年度決算）事業活動収入 287,924,644円、事業活動支出 232,657,318円 施設整備等による収入 0円、施設整備等による支出 54,803,700円、その他の活動による収入 55,500,000円、その他の活動による支出 51,492,130円、当期資金収支差額 4,471,496円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	-					
(2)設置目的	配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童を入所させて、これらの者を保護するとともに、自立の促進のためにその生活を支援し、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うことを目的とする。					
(3)利用者	配偶者のいない女子及びその女子が監護すべき児童等					
(4)開館日・時間	通年、24時間					
(5)規模	鉄筋コンクリート3階建ての2・3階部分、床面積714.01㎡ 入所定数 10世帯					
(6)人員体制	常勤4名、非常勤3名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	児童福祉法、並びに子どもの権利条約、DV防止法等の法令に基づき、生活自立のための支援を必要とする母子へ支援サービスを行う。母親への支援、児童への支援、その他退所に向けての支援、関係機関との連絡調整、苦情解決への取り組み等					
(2)自主事業	自主事業は行っていない。					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	33,855,000	34,675,000	35,032,000	37,302,678	38,365,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	33,855,000	34,675,000	35,032,000	37,302,678	38,365,000
決算	委託料	33,855,000	34,675,000	35,032,000	37,302,678	38,365,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	207,872	320,668	538,703	475,521	755,733
	管理経費	34,062,872	34,995,668	35,570,703	37,778,199	39,120,733
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	
室数	室	10	10	10	10	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
延世帯数	世帯	108	91	73	102	
延入居者数	人	230	218	160	235	

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み

子に基本的な生活習慣が身につくよう、居室清掃の支援や食育を行っている。母に対しては、安定した就労や就学のための支援として、朝夕の時間帯や病後児の預かりなどの補助保育を行っている。

8. 評価項目
 3: 協定等の水準を上回っている。 0: 協定等の水準を下回っている。
 2: 協定等の水準どおりである。 -: 評価対象外項目。
 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [-]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.3]	(a)利用者・第三者機関の評価 [3]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数等の目標達成 [-]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	365日・24時間体制で入所者をサポートする施設であるが、水準を満たした運営を行っている。また、NPOと協力して地域支援事業を積極的に行っている。
(2)施設の維持管理	A	修繕が必要な場合は直ちに区に報告し、軽微な故障や破損については、指定管理者として速やかに対応している。また、災害対応として新たに備蓄倉庫を設置し、適切に管理している。
(3)利用者の満足度	S	第三者委員が毎月施設を訪問し、入所者の相談を受ける体制が確立されており、区の職員および指定管理者による個別面接の聞き取りでも、入所者の満足度は高い。
(4)収入支出	A	日中は階段や廊下の消灯を行い、徹底した節電・節約が行われ、支出の効率化が図られている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	各家庭ごとに個別面接を実施した上で、明確な目標設定を行い、目標達成に向けた支援がなされている。また退所後も、孤立しがちな母子世帯が安心して生活できるよう長期的な支援を行っている。
-----------	---

11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応

入所者の母子が規則正しい生活を送れるよう、早寝早起きを促し、子の登校・登園しづりをなくしていく。母に対しては、それぞれの課題に合わせ、出所後の生活を見据えて貯蓄を促すなどの支援を行っていく。